

## (案)

令和 年 月 日

## 第24回まちづくり懇談会に係る報告書

寒川町まちづくり推進会議  
会長 杉下由輝

第7期寒川町まちづくり推進会議において、まちづくり懇談会について検討・実施した事項について、以下報告するとともに、町が今後この報告書にある内容をまちづくり懇談会の改善に生かしていくことを期待します。

1. まちづくり懇談会について

まちづくり懇談会は町民の方々と町長が直接話すことができる懇談会です。町の「地域における課題」を町民と行政が共に考え、話し合う。また、この課題の解決策についてもそれぞれの地域において考え、話し合い、将来的には課題抽出から解決策の実行までを、地域が中心的組織となっていくことを目指すもので、平成23年11月に第1回を開催して以来、今回を含めて計24回、延べ67会場で1,020名の方にご参加いただいております。

2. 経緯と現状

第7期まちづくり推進会議が始まったのは令和2年7月からですが、その当時は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、町としてまちづくり懇談会を開催する目途が立たない状態でした。第1回会議でまちづくり推進会議の取り組む議題を決めるにあたり、委員の皆様より懇談会の見直しをしてはどうかといったご意見をいただきました。

## &lt;ご意見の抜粋&gt;

- ・町長がいる中で意見が言えて満足だが、満足で終わってしまう感じがする。
- ・1人でずっと発言してしまう人がいて、他の人が意見を言えずに帰ることになり、司会に長けた人がやるなどの工夫が必要。
- ・今まで参加していないような方に対して、アプローチを試みる。例えば完全にオンラインという形で試みる。

- ・まちづくり推進会議の委員がファシリテーターという形で関与し参加者の印象がどう変わるのを見る。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況により、町長に直接意見や考えを伝える機会（懇談会）を無しにするのは町民にとって不利益である。

また、前期までの委員から、まちづくり推進会議自身で町政運営に対する町民の参画に関することを実施することも面白いのではないかと、いったご意見も過去にいただいており、まちづくり推進会議がコーディネーターを担いオンラインのまちづくり懇談会を開催することといたしました。

### 3. 概要・アンケート

開催しましたまちづくり懇談会の概要は、添付した資料のとおりです。

オンラインを使用しない方のために、来庁して参加する枠も設けてはどうかというご意見もありましたが、今回は新たな実験的な取り組みであることや、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点などから、今回はオンラインのみの参加といたしました。そのため、参加者は事前募集とし発言時間から逆算して15人までとしましたが、11人の方が応募して3人の方が欠席され8人の方が参加されました。2月5日（土）の開催当日はまん延防止等重点措置の期間となりましたが、開催して気付いた点等を、次のとおり簡単にまとめます。

- ・コーディネーターがZoomのトラブルに臨機応変に対応した。
- ・参加者2人に発言をいただいた後町長に意見を求める方法で公平に発言する機会を設けられた。
- ・11名エントリーがあり、3名が欠席し、参加者は8名となった。参加者が任意に意見を発言することができるフリーディスカッションの時間に若干余裕ができた。
- ・開催日がまん延防止等重点措置の期間となり、結果としてオンラインのみの参加で予定どおり開催できた。また、初参加の方の割合が高く、集合の時よりも若い世代の方の参加があった。

### <課題・反省点等>

- ・事務局のタブレットのキーボードが不調で使用できず、回線も不安定になり、2回（3分程度）回線が切断した。
- ・今後は、事務局の端末（パソコン、タブレット）は、予備の端末を用意する。
- ・不足の事態に備え、コーディネーターは事務局と同じ場所にいた方がよい。（まん延防止等重点措置期間であった。）

- ・事務局が町長、コーディネーターと打ち合わせをしたが、町長とコーディネーター間の事前の打ち合わせもする。
  - ・参加者の名前の読み方を事前に確認する。
  - ・テーマの内容によっては、参加者の話の内容が意見より要望になる傾向がある。
  - ・Zoomの録画を2時間すると、1ギガバイト以上の容量が必要。
- ※ 会議開催時は、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置期間であった。

次に開催後の参加者からのアンケート結果を見ると、町内在住の方が多く、年代は20代から70代で、若い層の参加者はLINEアカウントからまちづくり懇談会の開催情報を得ており、新たな参加者層へのアプローチにはある程度成果があったと思われます。以降の回答についても、コーディネーターの進行は好評で、今後オンラインのまちづくり懇談会に参加されるかという問いにも4分の3の方が参加したいという結果となりました。

発言時間は、コーディネーターが参加者2～3人に発言を求め、その後に町長がそれらのご意見にコメントする流れを繰り返した結果、4分の3の方がちょうどよいとした一方、4分の1の方が短いと回答しましたが、話したいことが話せたかについては8人中7人の方が「話せた」か「まあまあ話せた」と回答しました。

まちづくり懇談会の開催日程については、平日と土日祝半々でしたが、8人中7人の方が昼間と回答されました。開催時間については、4分の3の方がちょうどよいと、全体の印象では全参加者が「とてもよかった」と「よかった」を回答しました。

(添付した資料)

- ・第24回まちづくり懇談会の概要について … まちづくり懇談会の概要と議事録
- ・第24回まちづくり懇談会アンケート … 参加者の事後アンケート結果
- ・第24回まちづくり懇談会オンラインイメージ … オンラインの図
- ・まちづくり懇談会チラシ … 周知用のチラシ
- ・第24回まちづくり懇談会次第 … 参加者に事前配布した次第

#### 4. 今後

初めてのオンラインのまちづくり懇談会を検討していく中で、新たな参加者層へのアプローチとして町民（在住・在勤・在学）以外の方の参加や、ブレイクアウトルームの設定、懇談会終了後の町長からまちづくり推進会議への報告による検証、傍聴枠の設定、新たなPR手段の設定といったアイデアもいただきましたが、それらは今後の課題とさせていただきました。引き続き、懇談会について、協働し、町とともに企画運営を行うべきであると考えます。

現在新型コロナウイルス感染症の影響下で、町の各審議会等がオンライン会議や書面会議になったり、イベントが延期や中止されることが多くあります。そのような中で、町民が意見や考えを伝える機会が失われたり、町民同士のつながりが疎となることは望ましいことではありません。

今回の結果を踏まえ改善されたオンラインのまちづくり懇談会が今後開催され、町民の方の町政運営に対する町民の参画の一助となることを願います。

## 第 2 4 回 まちづくり懇談会の概要について

### 1. 懇談会のテーマ

- (1) いざという時に備えた地域のつながりについて
- (2) 住みたくなる町寒川について

### 2. 日時、会場

令和 4 年 2 月 5 日（土）午後 1 時 3 0 分～3 時 3 0 分  
オンライン（Zoom）

### 3. 参加人数

計 8 人（男性 4 人・女性 4 人）

### 4. 町出席者、コーディネーター

木村町長、杉下コーディネーター（寒川町まちづくり推進会議会長）、  
畑村副町長、戸村町民部長、岡野町民協働課長、町民協働課協働推進担当職員

### 5. テーマ別の詳細について

テーマ 1 … 1～3 ページ  
テーマ 2 … 4～6 ページ  
その他 … 7 ページ

## 第24回まちづくり懇談会の概要一覧表

テーマ	参加者の意見	町長の回答
<b>1. いざという時に備えた地域のつながりについて</b>		
<b>(1) 災害時の避難について</b>		
	参加者の意見	町長の回答／懇談後の経過・結果等
	<p>災害時、どのように子どもを守ればいいのか分かりません。生後5か月の子もいるため、なにを持って逃げればいいのかも分かりません。</p>	<p><b>【町長の回答】</b> 毎月第1日曜日を家族防災会議の日と設定し、午前10時頃に町内防災無線を使用し、家族で話し合ってもらい災害に関するテーマを放送しています。</p> <p><b>【懇談後の経過・結果等】</b> 避難所従事者や自治会（自主防災組織）等で構成される避難所運営委員会にて、避難所運営マニュアルを作成していただいています。毎年各避難所で施設管理者と共に、避難所のレイアウトや避難所開設時の対応などを確認する機会を設けています。</p>
	<p>災害時、避難所に授乳場所が確保されているのか、たくさん人が集まるところに子どもを連れて行って良いのか懸念されます。子ども連れの家庭に向けた準備があるかについて、情報があれば教えて欲しいです。</p>	<p><b>【町長の回答】</b> 町内に、学校施設等10カ所の広域避難所を設置しています。</p> <p><b>【懇談後の経過・結果等】</b> 子育て支援課で作成している「さむかわ子育てガイド」の「あかちゃんとママの防災知識」の中で、準備しておくことや必要最低限の持ち出しリスト等について掲載しています。町ホームページからもご覧いただけます。</p>
	<p>災害時、障がい者がいる家庭の避難について、迷惑になると感じ、避難所に行くことを諦めたり、遠慮する方がいます。福祉スペースが設けられている避難所もありますが、直接避難できる、福祉避難所を町内に設置して欲しいです。</p>	<p><b>【町長の回答】</b> 現在、福祉避難所の設置について、個々の福祉施設における収容可能な部分もありますが、具体的な対策ができていないのが実情です。</p> <p><b>【懇談後の経過・結果等】</b> 福祉避難所の設置について、協定先のさらなる拡充に努めるほか、協定締結先と災害時の施設の運用方法について検討していきます。</p>

参加者の意見	町長の回答・町の対応
<p>子どものプライバシー等に係る避難所での課題について、東北大震災の際に、子どもが体を触られる等の被害があったそうです。そのような対策も必要だと思います。</p> <p>子どもたちが避難食を食べられないことがあったそうなので、避難食の改善が必要だと思います。</p>	<p><b>【町長の回答】</b>            プライバシーが確保できるテントや人目を避けられるものを、各避難施設に配置しています。</p> <p><b>【懇談後の経過・結果等】</b>            避難所運営マニュアルにおける避難所運営の基本原則として、プライバシーの保護に努めると定めており、その方針に基づいたマニュアルの作成をお願いしています。避難食として、ビスケットの購入を、今年も予定しています。</p>
<p>具体的に福祉避難所になり得る候補となる建物がありますか。</p>	<p><b>【町長の回答】</b>            福祉避難所について、町内の企業を含め話をしています。適する避難施設ができた段階で、町民の皆様にお知らせします。</p> <p><b>【懇談後の経過・結果等】</b>            福祉避難所の設置について、協定先のさらなる拡充に努めるほか、協定締結先と災害時の施設の運用方法について検討していきます。</p>
<p>茅ヶ崎市では100名以上を収容できる、民間のマンションを一時避難所として契約しています。寒川町の場合、一時避難所としてお願いできる建物がありますか。</p>	<p><b>【町長の回答】</b>            マンションや集合住宅を避難所として提供していただくことについては、課題が多いと思っています。収容人数がある程度見込める、寒川神社の参集殿や各神社の社務所は、一時避難所として使用可能であると思います。避難場所のさらなる拡充に努めます。</p>
<p>以前、災害時に足を運んだ避難所が収容人数を超えていることがありました。災害時、避難所の収容人数を知らせて欲しいです。</p>	<p><b>【町長の回答】</b>            昨年、避難所の混雑状況をスマホやパソコンで見られるシステムを開発している企業と協定を結びました。現在、企業とともに、対応を進めています。</p>

**(2) ハザードマップについて**

参加者の意見	町長の回答・町の対応
寒川町のハザードマップは洪水のみだと思うので、それ以外のハザードマップの設置も重要だと考えています。	<b>【町長の回答】</b> 寒川町では、洪水ハザードマップと内水ハザードマップを各世帯に配布しています。保存版となっているため、内容を確認し、平時から防災について心がけてください。
洪水ハザードマップの浸水域の設定が場所によっては50センチメートルから3メートルと幅があります。	<b>【町長の回答】</b> 寒川町は神奈川県内でも急傾斜がない自治体ですが、標高が6メートルから26メートルと津波の心配がある場所に位置しております。河川や海岸からの遡上も含め、非常に災害が起こりやすいことから、広く設定をしています。

**(3) 地域防災について**

自治会の防災備品、水害に備えた器具を準備しています。	<b>【町長の回答】</b> 各自治会において、自主防災訓練や自主防災組織が構成され活動されています。
行政でも小規模な訓練を月1回程度行った方が、効果があると思います。	<b>【町長の回答】</b> 町では年1回各関係機関が集まり、総合防災訓練を行います。

**(4) 地域のつながりについて**

イベントを通じた共助コミュニティの創生ができれば、掲示板を注意深く見ない方にも情報が伝わります。	<b>【町長の回答】</b> コロナ禍という状況の中において、イベント開催が中止になってしまうことは非常に残念です。この生活様式、行動様式に慣れるのではなく、安全策を講じた上で、イベントを開催できればと思います。
--	---

## 2. 住みたくなる町寒川について

### (1) 教育環境について

参加者の意見	町長の回答・町の対応
<p>コロナ禍において、子どもたちが安心して学べる環境を素早く整えてくれるような町であってほしいと思います。</p>	<p>【町長の回答】 文部科学省の指導に従い、GIGAスクール構想から児童生徒全員にタブレットが行き届いています。コロナの収束が見えない状況下において、オンライン授業の徹底を図っていく必要があると思います。</p>
<p>コロナ禍に限らず、学校に通えない子どもが自宅から授業を受けられると良いと思います。学校、又は自宅で授業を受ける選択ができる環境を整えて欲しいと思います。</p>	<p>【町長の回答】 コロナ禍が続く状況下において、子どもたちに対する教育の在り方について、様々ご意見いただいておりますので、環境づくりに努めたいと思います。</p>

### (2) 移住者政策について

<p>住みたくなるまちづくりとして、子育て面での充実が町は整っていると思います。子育て面でのハードルは高くなっているため、行政側から補助金や子育て支援のコミュニティ創出を進めていければ効果的だと考えます</p>	<p>【町長の回答】 子育てがしやすい町は、一番の魅力だと思います。子どもたちが安心できる、保護者が安心して見守れる環境の実現を進めていきたいと思っています。</p>
<p>町の大きなシンボル『「高座」のころ。』について、古いイメージがあるとの意見があります。観光資源が乏しいと思います。</p>	<p>【町長の回答】 広く多くの方に『「高座」のころ。』やブランディング政策を理解してもらうためには、まだまだ伝わりきっていないところがあると思います。町に潜在的に存在している、今ある資源を皆さんに認識していただくことが大事だと思っています。</p>
<p>サービスやお店があまりなく、商店街も盛んではないと感じています。若い人による起業や支援によって、商品やサービスを買う流れが生まれる方が、寒川町にはあっていると思います。</p>	<p>【町長の回答】 事業展開をしてもらうためには、雰囲気や環境づくり、行政からの後押しが必要になると考えます。今後も対応を進めたいと思います。</p>

参加者の意見	町長の回答・町の対応
<p>横のつながりがなく、活用しきれていないことが現状だと感じます。町民を巻き込んだまちづくりが、町民の力を合わせて何かを創出するという雰囲気づくりにつながると思います。</p>	<p><b>【町長の回答】</b>  町の総合計画において「つながる力で新化するまち」を将来像に設定しています。町民の方や事業展開をされている企業、年齢の異なる子どもからご年配の方まで、様々な分野の方がつながることで、町が「新化、新しく化ける」ということを理解していただきたいです。協働のまちは周りを巻き込むことだと思っているので、これからもこのようなまちづくりに取り組みます。</p>
<p>協働を目指すのであれば、町民の意見の汲み取りが大事だと思います。町長への手紙について、町長が一番にアクションをするべきだと思います。</p>	<p><b>【町長の回答】</b>  町長への手紙は、私への手紙ですから、私が目を通し内容を確認した上で回答しています。具体的な回答については、担当課にも指示しています。</p>

(3) 子育て、産後ケアについて

参加者の意見	町長の回答・町の対応
<p>産後ケアについて拡充を図って欲しいです。コロナ禍や核家族化により家族の支援を得られない方や、親元を離れた若いご家族のサポートを進めて欲しいです。</p>	<p>【町長の回答】 保健師と助産師の増員や不妊・不育症の対応を行っています。子どもたちが健やかに成長できる環境づくりに努めます。</p>

(4) 交通網について

<p>道路交通問題について、道路・歩道の整備がきちんとされていないイメージがあります。寒川駅南口に神奈中バスが停車するが、ロータリーから駅までの動線がわかりづらいです。</p>	<p>【町長の回答】 町内の県道については歩道がございます。町が管理している町道に関しては、歩道のない道が多くあります。現在、道路の機能等を見直すように担当課に指示をしております。南口のバス転回場からの駅へのアクセスが悪いことについては、様々な理由から場所を移動させた結果になります。しかしながら、転回場から駅までのアクセスのわかり易い表示や、寒川駅南口駅前通りの道路の形態について改善を進めていきます。</p>
<p>道路事情について、年配の方や小さなお子さんが移動する道としては、適当ではないと考えます。人の移動の自由を保障することは、都市の機能に対してとても大事なことなので、真面目に取り組んで欲しいです。</p>	<p>【町長の回答】 生活道路は歩行者が安全に移動できるスペースであり、車のための道路であってはいけないと考えています。改善が必要だと感じる箇所がございますので、道路の舗装面の改善を含め、移動空間、移動手段の改善に努めます。</p>

(5) 空家問題について

<p>地主さんの高齢化に伴う、空家問題が気になります。空家の活用を進めることで、若い世代がより活発に活動でき、周りも支援の動きをすと思います。一人ではできないことを協働で進められるととても良いと思います。</p>	<p>【町長の回答】 空家対策計画についてはすでに策定しました。危険な家屋や犯罪を助長するような空家等の報告はありません。岡田地内にある空家は、現在有効活用されています。今後も、有効活用できる空家については、所有者の了承をいただき、利用していきたい考えです。危険な箇所、不測の事態が予想される建物については、所有者と相談し善処していただく形で進めています。</p>
--	--

### 3. その他

#### (1) その他

参加者の意見	町長の回答・町の対応
<p>倉見駅周辺は寒川駅や宮山駅と異なり、街灯の個数が非常に少なく、夜間は暗くなってしまいます。可能であれば街灯の本数を増やす、又はLEDにすることで明るくして欲しいと思います。</p>	<p><b>【町長の回答】</b> 防犯灯や街路灯（商店街）、道路照明（県道）の機能はそれぞれ異なりますが、設置しています。町内の防犯灯はすべてLED対応しています。</p> <p><b>【懇談後の経過・結果等】</b> 歩行者の安全のため、夜間の防犯を目的に設置する照明が防犯灯です。町内の防犯灯は、現在LED防犯灯になっており、町内に約3650灯（2022年3月末時点）あります。基本は電柱や電信柱に添架させていただいており、自治会の協力のもと、必要な箇所の設置要望を挙げていただき、毎年新しく設置をしています（令和3年度18灯設置、令和4年度35灯当初予算）。電柱や電信柱が無い箇所の要望があった際は、地権者の承諾が得られれば民地に小柱を建てて防犯灯を設置し、暗い場所の改善を図っています。道路照明施設計画の方針に基づき道路照明としての必要性が高い施設は、LED道路照明灯に順次更新していきます。（※倉見駅周辺に道路課管理の照明なし）</p>
<p>子育て支援に関して、行政だけでなく民間や個人レベルで子育てしやすい環境を作っていかなければならないと感じました。地域が協働してイベントを開催することが、町でできればと感じています。「広報さむかわ」を活用し、町民の活動やイベントをアピールしていければと思いますので、ご検討ください。</p>	<p><b>【町長の回答】</b> 趣旨が異なってしまうかもしれませんが、寒川町では協働事業提案制度という事業展開をしています。町民の活動を支援するような対応策も考えています。</p> <p><b>【懇談会後の経過・結果等】</b> 令和4年度は3事業が、令和3年度は1事業が協働事業を行っています。令和3年度の協働事業を含めると、累計20の提案事業がこの制度を活用しています。</p>
<p>2013年の一般ごみのリサイクル率が24%と県内31市町村のうち21位でした。町が決めている分別を守っていないのか、守っても足りない部分があるのか、どのようなところなのか。</p>	<p><b>【町長の回答】</b> 資源化について、寒川町は県内でもかなり上位に位置しており、資源化率も高いため、リサイクル率が20数%と初めてお伺いし、どのような状況なのだろうと思った次第です。寒川町は過去に焼却施設がありましたが、現在は茅ヶ崎市に焼却をお願いし、焼却最終処分場は県外にあります。後日、担当課から説明をいたします。</p> <p><b>【懇談会後の経過・結果等】</b> 令和元年度の町のリサイクル率は27.6%と、県内平均24.1%を上回り、皆さまのご協力により県内15位にランクアップしています。</p>

※ こちらは簡易版になります

## 第24回まちづくり懇談会 アンケート

本日はご参加いただきありがとうございます。今後の参考とさせていただくため、懇談会について、アンケートにご協力ください。

### <問1> ご自身について

- ・年齢 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70歳以上
- ・性別 ( )
- ・町民区分 在住 ・ 在勤 ・ 在学

### <問2> 懇談会の開催はどこでお知りになりましたか。(複数選択可)

1. 町ホームページ 2. 広報さむかわ 3. 自治会など地域から
4. ツイッター、フェイスブック 5. メール配信サービス 6. 町LINEアカウント
7. 庁舎デジタルサイネージ 8. その他 ( )

### <問3> 懇談会のテーマの説明はいかがでしたか。

1. 理解できた 2. ある程度理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 理解できなかった

### <問4> オンラインのまちづくり懇談会の開催は、いつが適当だと思いますか。

1. 平日の昼間 2. 平日の夜間 3. 土日祝日の昼間 4. 土日祝日の夜間

### <問5> 懇談会全体の時間はいかがでしたか。(今回は1時間30分)

1. ちょうどよい 2. 長い 3. 短い
- 2及び3を選ばれた方は、何分程度がよいかお答えください。( 時間 分)

### <問6> ご自身の発言時間はいかがでしたか。

1. ちょうどよい 2. 長い 3. 短い

### <問7> コーディネーターの進行はいかがでしたか。

1. とてもよかった 2. よかった 3. どちらともいえない
4. あまりよくなかった 5. よくなかった

### <問8> ご自身が話したいことを話せましたか。

1. 話せた 2. まあまあ話せた 3. どちらともいえない 4. あまり話せなかった
5. 話せなかった

<問9> 町長の話は分かりやすかったですか。

1. 分かりやすかった
2. まあまあ分かりやすかった
3. どちらともいえない
4. やや分かりにくかった
5. 分かりにくかった

<問10> 懇談会の全体の印象として、あなたの感想はどれに一番近いですか。

1. とてもよかった
2. よかった
3. どちらともいえない
4. あまりよくなかった
5. よくなかった

<問11> 今後、オンラインと実際に集まる懇談会のどちらに参加したいと思いますか。

1. オンライン懇談会
2. 実際に集まる懇談会
3. どちらも参加したい
4. どちらも参加したくない
5. どちらとも言えない

<問12> 本日の懇談会のご感想やご提案等があればご記入ください。

( )

<問13> 今後、まちづくり懇談会で町長と話してみたいことはありますか。(複数回答可)

※①～③については、( )内のA～Cよりお選びください。

①地域活動の推進 (A:行政と町民の協働、B:地域住民の協力、C:ボランティア活動)

①で選んだ項目のジャンルをお選びください。

[ ・健康 ・福祉 ・賑わい創出のためのイベント ・歴史/文化 ・芸術 ・スポーツ  
・地域の安心安全 ・子どもの健全育成 ・市民活動支援 ]

②生活環境 (A:道路網・公共交通機関、B:環境美化、C:公園・緑地)

③自然環境 (A:緑の保全、B:水辺環境の保全、C:野生動植物の保全)

④市街地整備 ⑤高齢者 ⑥障がい者 ⑦健康・スポーツ ⑧子育て

⑨子どもの教育 ⑩文化・観光 ⑪生涯学習 ⑫防災 ⑬防犯 ⑭商工業

⑮その他

・具体的に懇談したい内容がありましたら、お書きください。

( )

ご協力ありがとうございました。

担当：町民部 町民協働課 協働推進担当

## 第 24 回 まちづくり懇談会

対象 : 寒川町民

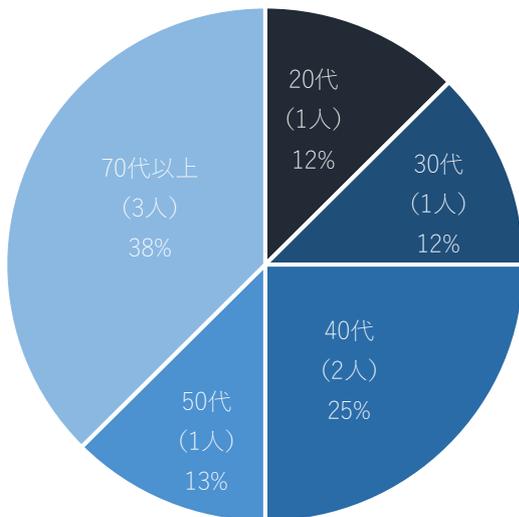
実施日時 : 令和 4 年 2 月 5 日(土)13 時 30 分-15 時 30 分

参加人数 : 8 名

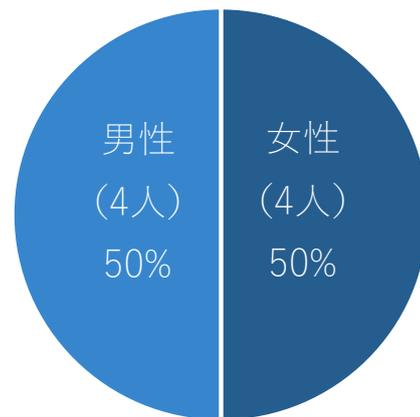
回答数 : 8 件 (回答率 100%)

## ご自身について

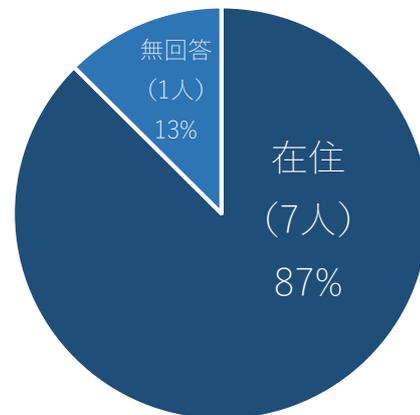
年代



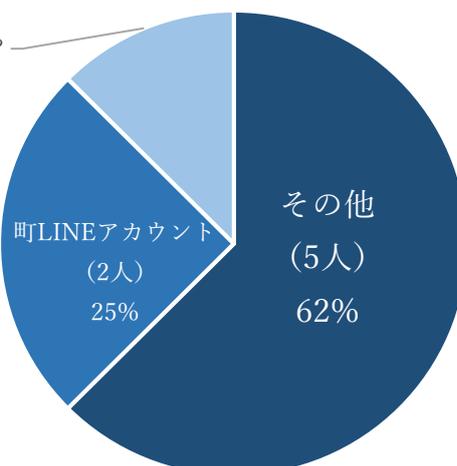
性別 ※自由記入



町民区分 ※複数回答可

懇談会の開催はどこでお知りになりましたか  
※複数回答可

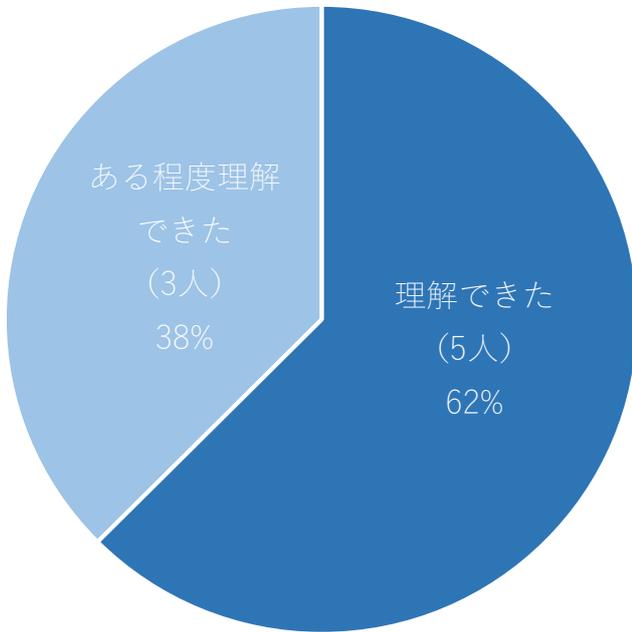
自治会等地域から  
(1人)  
13%



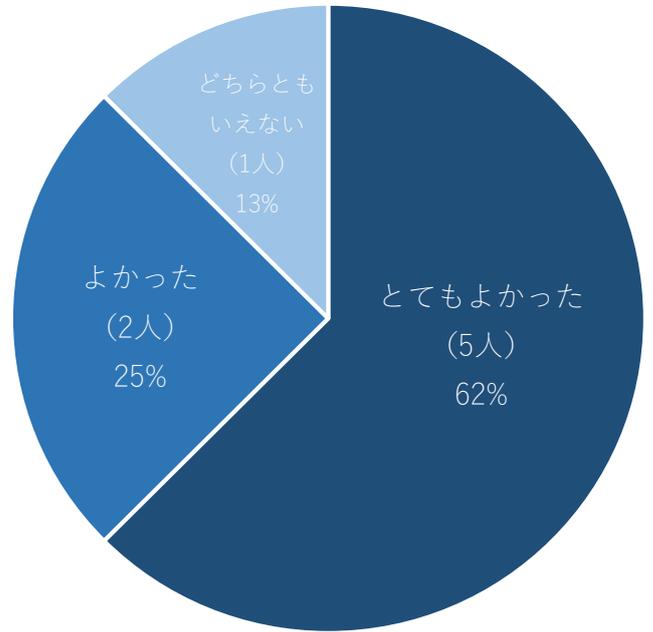
20代30代の方は  
町LINEアカウント  
でお知りになられた

その他内訳  
知人から3人  
家族から2人

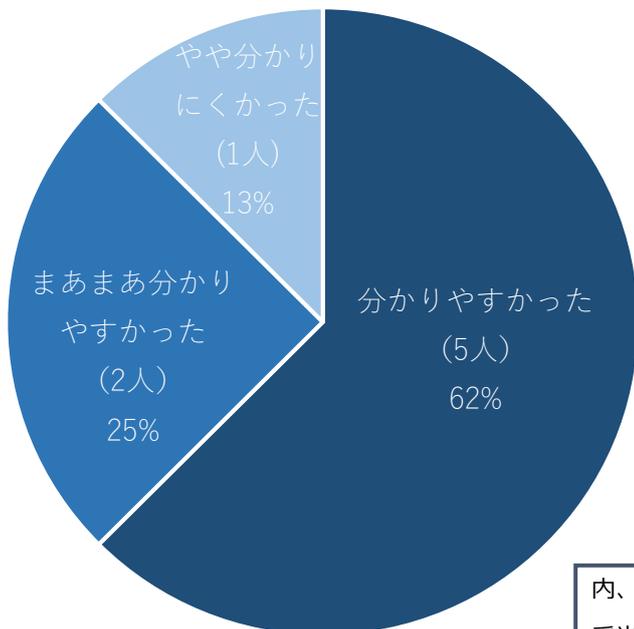
懇談会のテーマの説明は  
いかがでしたか



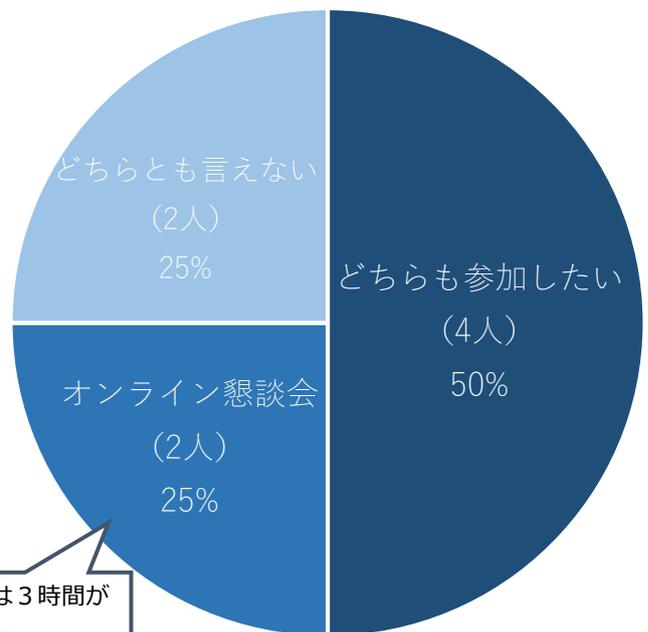
コーディネーターの進行は  
いかがでしたか



町長の話は分かりやすかったですか

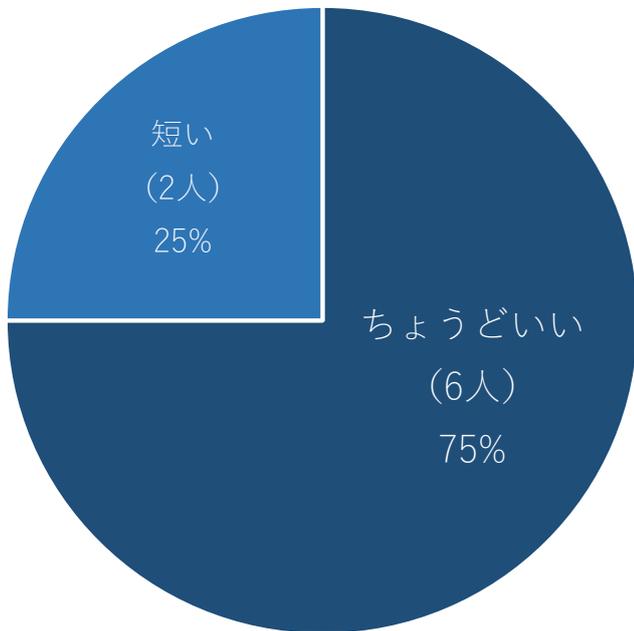


今後、オンラインと実際に集まる  
懇談会のどちらに参加したい  
と思いますか

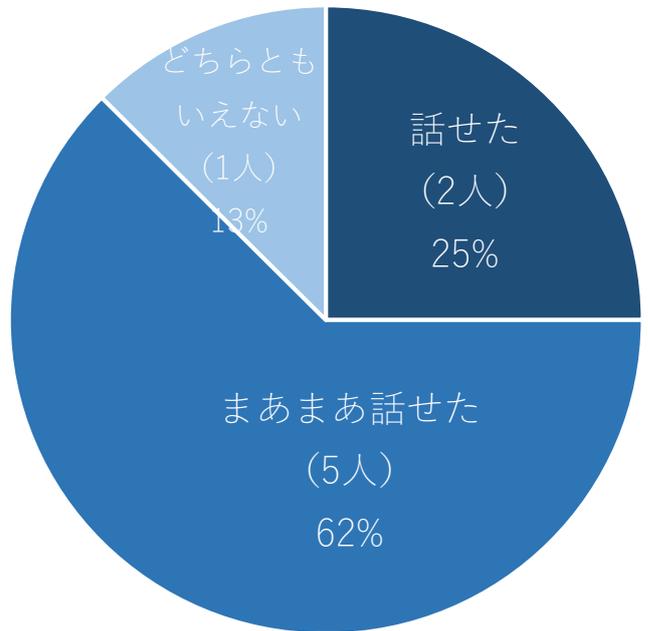


内、1人は3時間が  
妥当とご回答

ご自身の発言時間はいかがでしたか



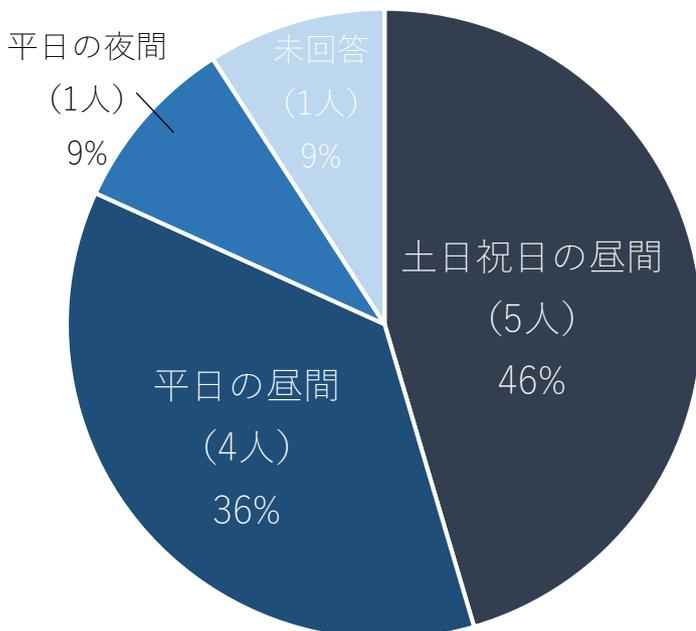
ご自身が話したいことを話せましたか



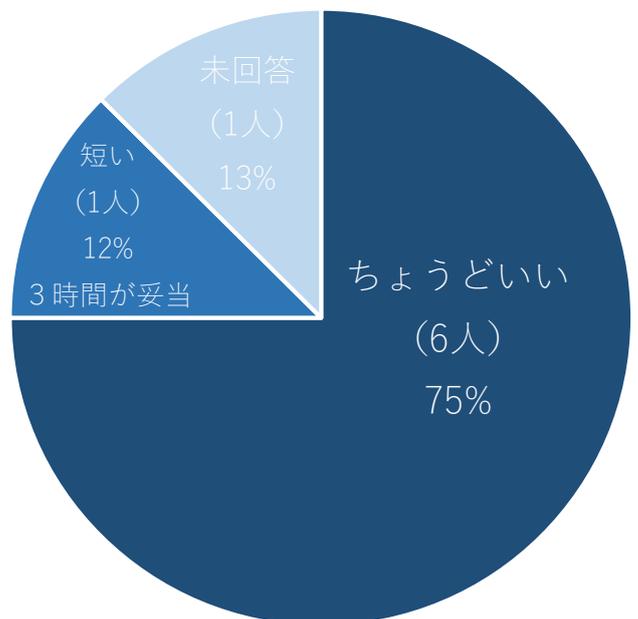
ご自身の発言時間が“短い”と回答されたお二人は、それぞれ、ご自身の話したいことは“話せた”“まあまあ話せた”とご回答

オンラインのまちづくり懇談会の開催はいつが適当だと思いますか

※複数回答可



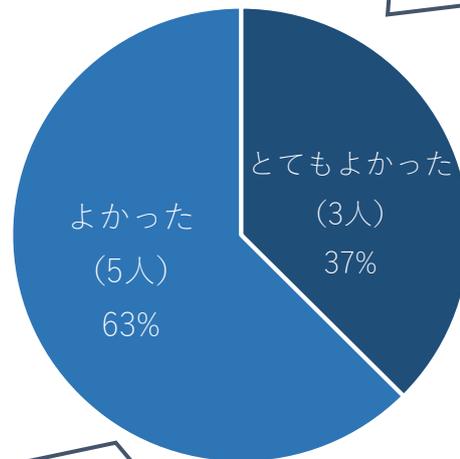
懇談会全体の時間はいかがでしたか



## 懇談会の全体の印象として、あなたの感想はどれが一番近いですか

### とても良かった

- ・今回は行政に望む話を中心だったので、町民自身が起こしたアクションやソーシャルビジネス、イベントなどについて町の意見や共同できそうなことを話し合えたら面白いと思いました。特に若い世代の市民活動を活性化することが今後は大切だと思います。
- ・町長に直接意見をお伝えしその場で町長のお考えを伺う事ができたので、大変良い機会をいただきました。共通のテーマでも参加者の立場で様々な意見があり、新たに知った事がたくさんありました。今回の意見を是非町政に活かしていただきたいです。
- ・今回自治会長さんや大学生、小さなお子さん、障がいを持つお子さんをお持ちの方などさまざまなお立場の方が参加されていて、偏りがなく良かったです。発言時間も「2分」と制限したことも大変良かったと思います。



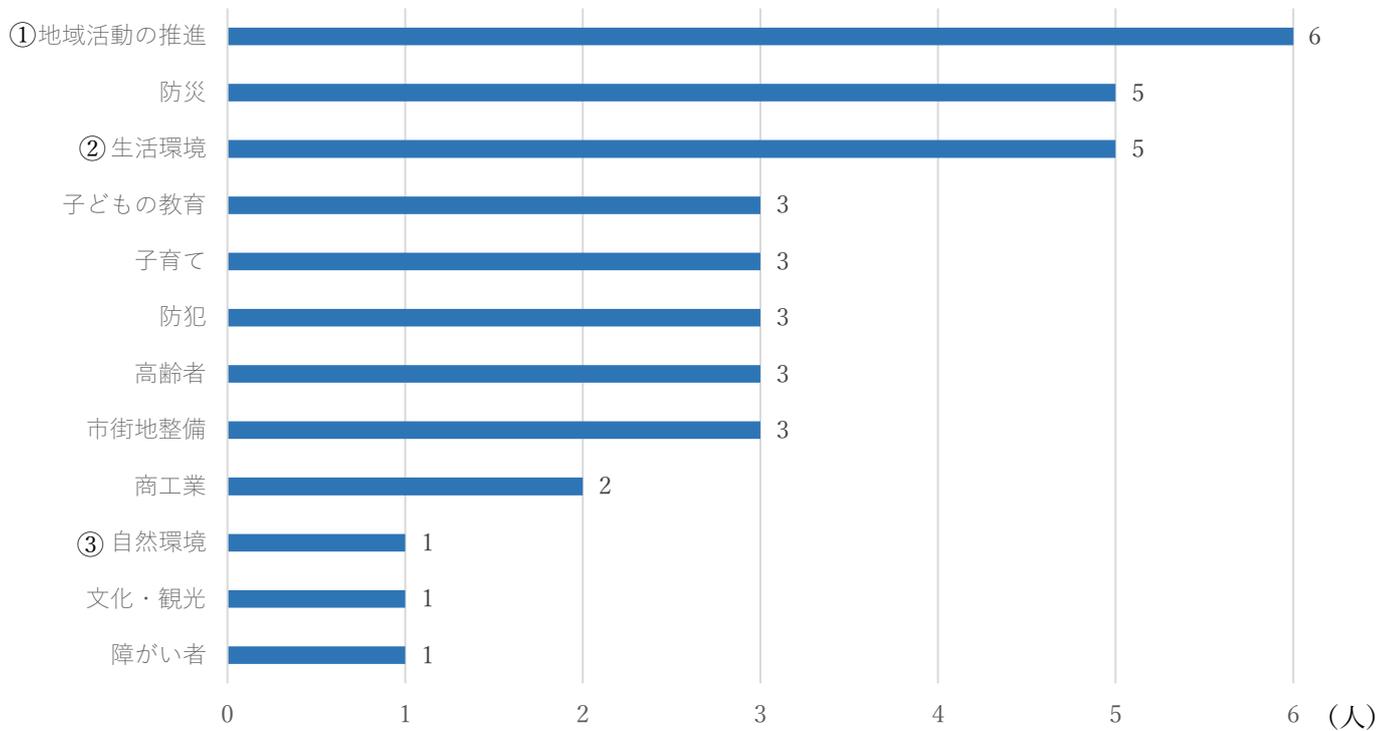
### よかった

- ・会議の進行方法二名ずつ発言等事前に知りたかった、ZOOMの操作上ですがミュートは発言側の操作でなくホスト側がコントロールしてもらいたい挙手カードを事前に頂きましたが画面上でのアクションの手を上げるの方がよかったのではないのでしょうか？
- ・実際に町長と話す機会が得られてよかった。また、寒川町をより良くしようとする人たちの意見に触れることができてよかった。
- ・町長の手紙に関する質問に対して具体的な回答が得られなかった

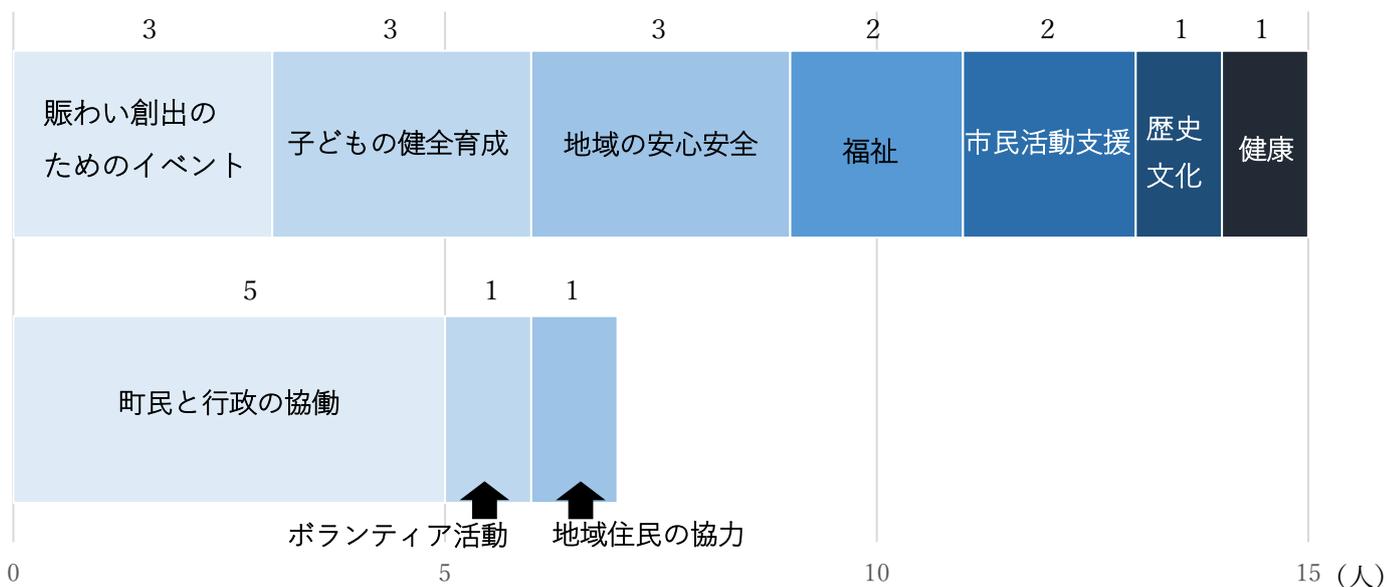
## 今後、まちづくり懇談会で町長と話してみたいことはありますか

※複数回答可

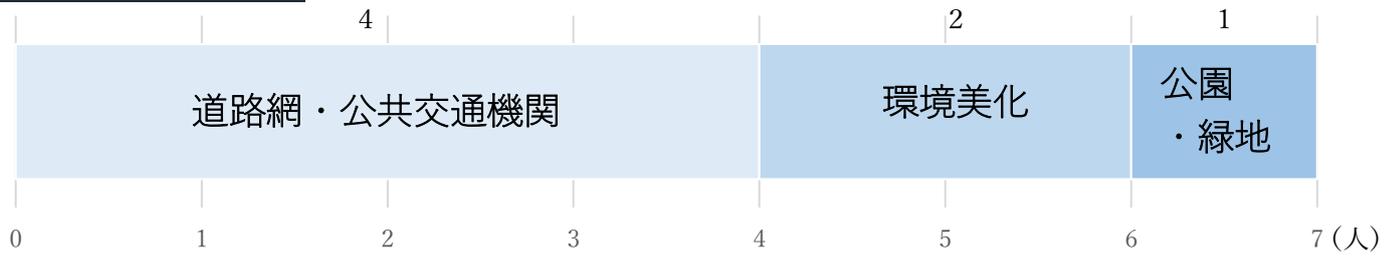
①から③については、細分化した選択肢からも選択。内、①についてはさらに細分化した選択肢からも選択。



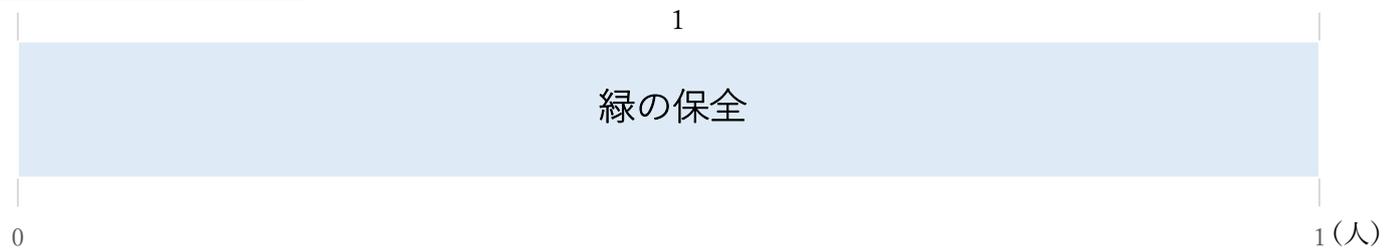
### ①地域活動の推進の内訳



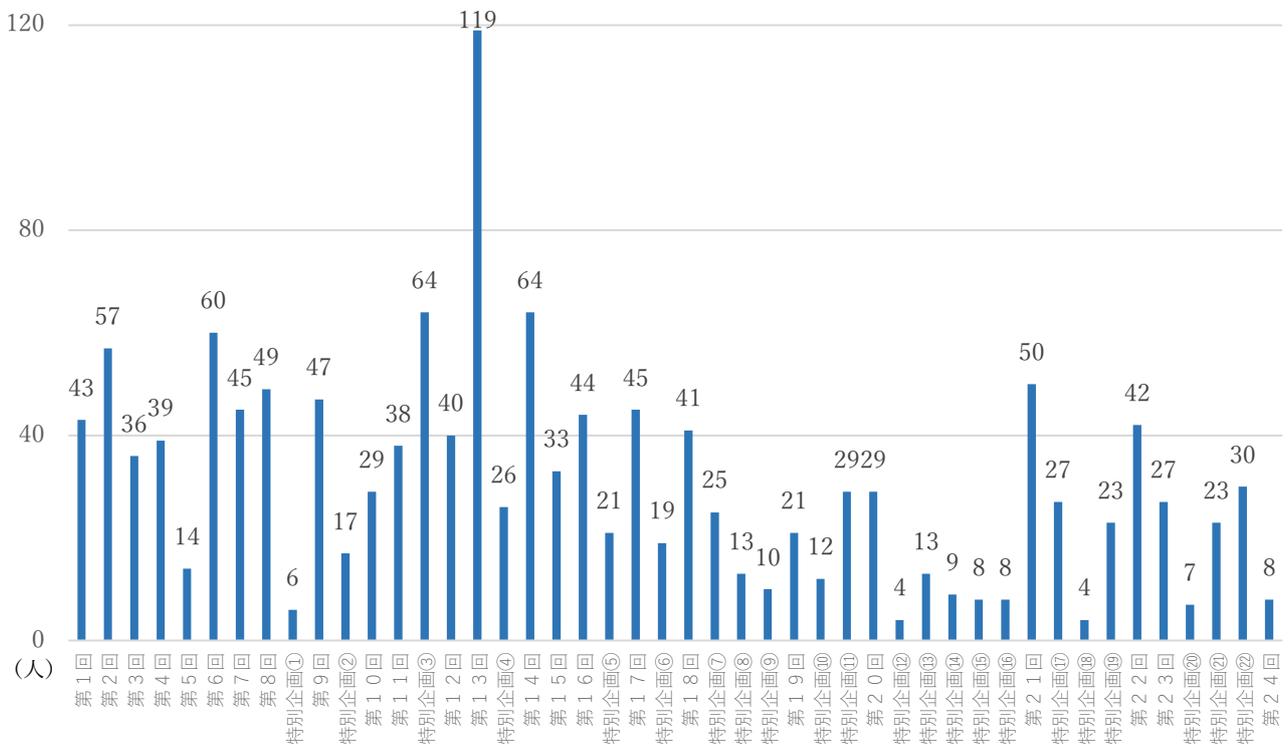
## ②生活環境の内訳



## ③自然環境の内訳



## 参加人数の推移

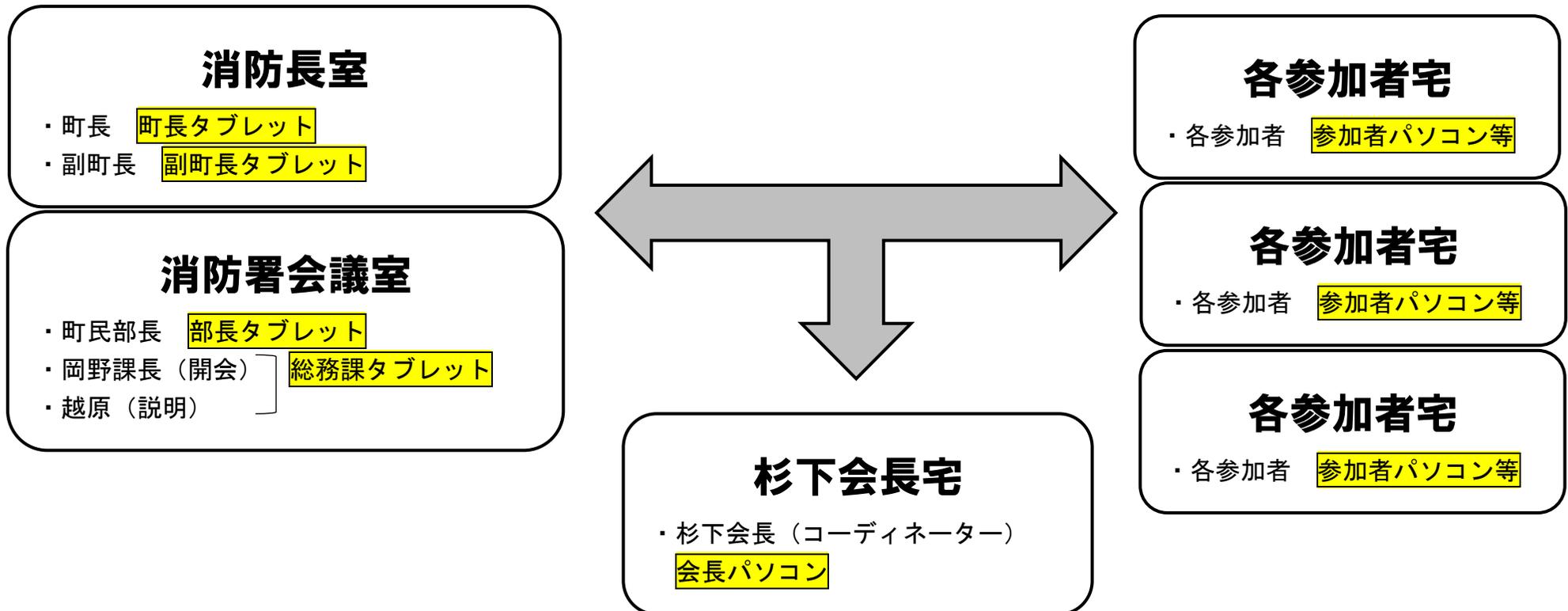


合計 1,418 人 (内、特別企画参加人数 398 人)

※ 割合は全て少数点第二位を四捨五入し表記しているため、合計が 100% にならない場合があります

第 2 4 回まちづくり懇談会 オンラインイメージ

〔 令和 4 年 2 月 5 日（土） 1 3 時 3 0 分～ 1 5 時 3 0 分  
オンライン（Zoom）： 消防長室、 消防署会議室、 コーディネーター・ 参加者ご自宅 〕



# まちづくり懇談会

—地域の課題解決に向けた、町長との懇談会—



開催日時

令和4年2月5日（土）

午後1時30分～午後3時30分

テーマ（予定）

- ・いざという時に備えた地域のつながりについて
- ・私が町と力を合わせてしたいこと
- ・住みたくなる町寒川について

開催方法

オンライン（Zoom）にて各ご自宅から

募集期限/人数

令和3年11月30日（火）

15名（抽選）



SAMUKAWA

<対象>

寒川町内在住か在勤または在学の方

<応募期限>

令和3年11月30日（火）

<応募方法>

町民協働課へEメール

(kyoudou@town.samukawa.kanagawa.jp)

記入事項・氏名

・住所

・寒川町「在住、在勤、在学」の  
いずれに該当するかを記入

※抽選結果とZoom会議IDは、

応募時の電子メールアドレスへ送付します。

お問い合わせ先

町民協働課 協働推進担当

TEL74-1111（内線 291・292） FAX74-9141

kyoudou@town.samukawa.kanagawa.jp

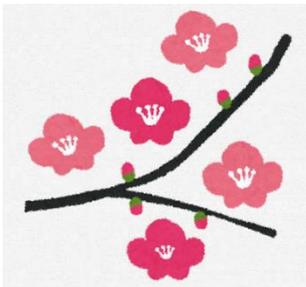
# 第24回まちづくり懇談会



## テーマ

☆いざという時に備えた地域のつながりについて  
☆住みたくなる町寒川について

令和4年2月5日（土） 午後1時30分～3時30分



オンライン（Zoom）

コーディネーター

寒川町まちづくり推進会議会長 杉下由輝

1. 開会
2. 町長あいさつ
3. コーディネーターあいさつ
4. テーマの説明
5. 懇談
6. 閉会





本日はご参加いただきありがとうございます。  
今後の参考とさせていただくため、懇談会についてアンケートにご協力をお願いします。  
(スマートフォン用二次元コード) 2月10日(木)までにご回答ください。



## 懇談会参加者へのお願い



- 発言される際は、お名前を述べてからお願いします。
- コーディネーターの進行にご協力願ひます。
- 途中トイレ休憩はございませんので、適宜願ひます。
- 内容を記録するために録画をさせていただきますので、ご都合の悪い方がいらっしゃいましたら、お申し出ください。
- まちづくり懇談会は、個人的な要望を受け付ける場ではございませんので、ご了承ください。

事務担当：町民部 町民協働課 協働推進担当  
電話 0467-74-1111(内線 291)  
ファクシミリ 0467-74-9141